

平成30年度 支援事業 P T A 活動報告書

松江市立宍道小学校 P T A

会 長 長谷川 修二

1 ねらい

宍道小学校 P T A では、平成29年7月より、「家庭におけるリサイクル意識の向上と児童への環境教育に資する」、「P T A 収益金会計の充実を通して、児童の教育環境と活動の充実を図る」ことを目的にアルミ缶回収事業を始めました。

2 取り組みの概要

P T A 環境部で年間の回収カレンダーを作成・配布し、毎月3日間、児童が登校時に持参し、児童昇降口にある回収ボックスに入れるようにしています。また期間中、回収ボックスは昇降口外に出したままにしておき、P T A 会員が都合のつく時間に持参できるようにしています。

今回、更に P T A 会員の意識を高め、回収量を増やしていくため、広報啓発用ののぼり旗とリサイクル用のバッグを作成しました。

3 成果と課題

毎月の回収量は1 t 土嚢袋に2～3袋ですが、今では地域の皆さんも協力してくださるようになり、徐々にではありますが、回収量が増えてきています。

松江市では、市民への環境保全やリサイクル意識の向上・啓発に取り組んでいます。宍道小学校 P T A のアルミ缶回収事業もその主旨や目的は一緒であり、今後は、行政とも協力しながら、P T A、学校、地域が一体となったアルミ缶回収事業につながればと思っています。

この地域で育った子どもたちが、アルミ缶回収事業を通して、生涯、リサイクルの意識を絶やさず持ち続けてくれることを願っています。

4 写真等の添付

連絡先〔電話：0852-66-0352 FAX：0852-66-0565〕

担当者〔松江市立宍道小学校 教頭 林 和博〕

平成30年度 支援事業PTA活動報告書

松江市立揖屋小学校PTA

会長 石原博行 印

1 ねらい

親子や家族、地域の方と触れ合うような交流活動（レクリエーション）をしたり、一緒に映画を鑑賞し、感動を共有して、話をしたりすることを通して、家庭や地域の絆を深め、地域をあげて子どもを支援する気運の醸成を図る。

2 取り組みの概要

○事業名

夏休み映画鑑賞会等を通した三世代交流事業

○対象

揖屋小学校児童・保護者・教職員・地域の方々・揖屋小学校後援会の方々

○開催場所

揖屋小学校 体育館

○具体的な内容

（1）レクリエーション活動

親、子、地域住民が交流する活動

（2）映画鑑賞会

人権に関わる映画を鑑賞し、感じたこと等を大人と子どもと一緒に話し合ったり、本事業が「人権」や「地域のつながり」について考えるきっかけとなるよう、PTA 便り等で本事業の様子や事後の感想、アンケート等を紹介したりする。

（3）取組の様子

映画鑑賞に加えて、親子、地域の方々が楽しく交流できるようなレクリエーション活動を取り入れ、全体を通して和気あいあいとした和やかな雰囲気だった。また、保護者だけではなく、祖父母や兄弟姉妹、後援会の方など地域の様々な方にも案内し、ポスターやチラシ等も掲示したり、配布したりすることで、いろいろな世代の方にたくさん参加していただいた。

3 成果と課題

～成果～

親子や地域の方など、いろいろな世代の方との交流を通して、地域全体で子どもを育成していこうとする機運がさらに高まった。また、お互いが知り合う良いきっかけになった。

～課題～

映画鑑賞会は子どもたちも楽しみにしており、保護者や地域の方の動員もかなりあって、とても PTA 及び地域の活性化・交流の場としてとても有意義な活動であるが、映画の放映権・機材借用等、経費が高額となるため、毎年お金の工面に苦勞している。

平成30年度 支援事業PTA活動報告書

浜田市立浜田東中学校PTA

会長 松井 友和 印

1 ねらい

- ・夏休みの時期に、親子で夕べの催しに参加することにより、親子のふれ合いの場とする。
- ・親子で物づくりに取り組んだり、音楽を楽しんだりすることで、家庭で共通の話題を持ち、語り合いの契機とする。
- ・浜田東中学校区の二校（国府小、浜田東中）のPTAが協力して事業を行うことで、「地域での子育て」の機運を盛り上げていくと共に、保護者のネットワークを構築する。

2 取り組みの概要

○「夏の夕べを親子で楽しむ会」の開催

(1) 期 日 平成30年8月25日（土）

(2) 主 催 浜田東中学校区二校連絡協議会
（国府小、浜田東中の2校のPTA・各学校）

(3) 共 催 浜田東中学校PTA地域交流部 浜田東中学校生徒会
国府小学校PTA地域交流部
子ども活動連絡会（地域の青少年健全育成の会）

(4) 参加者 浜田東中校区二校の児童・生徒150名、PTA会員60名
地域の方20名（民生児童委員、公民館長、自治会長 他）
教職員25名

(5) 内 容 ①親子ものづくり体験
万華鏡（理科室） オープン粘土（美術室）
ちぢみっこ（金工木工室） 風船ヘリコプター（会議室）
スチロールグライダー（多目的ホール・体育館）
②飲食コーナー（食事タイム）
タコ飯 フランクフルト 焼きそば
わた菓子 ポップコーン ジュース・茶
③吹奏楽部演奏会（多目的ホール）

(6) 日 程	14:00 ~ 16:00	準備
	16:30 ~ 17:00	受付
	17:00 ~ 17:10	開会式、オリエンテーション【中庭】
	17:10 ~ 18:10	親子ものづくり体験
	17:30 ~ 18:40	食事タイム
	18:40 ~ 19:20	吹奏楽部定期演奏会【多目的ホール】
	19:20 ~ 19:30	閉会式【中庭】

3 成果と課題

- ・本年度で17回目の開催。地域や保護者、児童・生徒が一緒になって楽しむことができる有意義な催しとして定着している。校区PTA二校連絡協議会が中心となり、多くの教職員も協力して開催することにより、学校と保護者、保護者同士のつながりや小中学生のふれあいを深めることができた。また、地域の方々にも参加していただくことで、地域全体で子どもたちを育てるという意識も高まり、子育てのネットワークづくりの好機となっている。
- ・参加した小学生と保護者は、平素は一緒に活動する時間がなかなか持てないが、催しに参加して親子で「ものづくり」に取り組んだり、会食をすることで親子のふれ合いを深め、多くの笑顔を生み出すことができた。
- ・中学校生徒会が開閉会式の企画・進行を担い、参加者の立場から共催として参画者の役割を果たした。また、中学生有志はボランティアで「ものづくり」の手助けや「食品調理・食品販売」に生き生きと取り組んだ。中学生にとってこの催しは、人間関係形成・社会形成能力を育てるとともに、大人に期待され年下に頼りにされる経験を通して、自己有用感と達成感を高める格好の機会となった。
- ・中学校吹奏楽部の活動にとって、集大成となる演奏を仲間や保護者・地域へ届けことができ、達成感を味わうことができた。
- ・3回の実行委員会を行い、不安を抱きながらの開催だったが、PTA・地域の協力により、有意義な1日となった。
- ・事業の継続と充実のための経費の確保について、今後検討をしていく余地があり、課題ともなっている。

平成30年度 支援事業PTA活動報告書

浜田市立岡見小学校PTA

会長 平川 敦志 印

1 ねらい

- ・岡見の祭りに参加し、地元の祭りの楽しさを知る。
- ・親子で祭りに参加することで親子の絆を深める。
- ・漁師さんと話をすることで漁業に関心を持つきっかけ作りの場とする。
- ・地元で水揚げされたイカを食べ、おいしさを実感し、魚介類が好きになるきっかけを作る。

2 取り組みの概要

○「地元岡見を楽しむ会」の開催

- (1) 期 日 平成30年7月28日(土)
- (2) 主 催 岡見小学校 PTA
- (3) 共 催 須津・青浦自治会 岡見子供育成会 岡見花火実行委員会
- (4) 参加者 岡見小学校児童 37名, PTA 会員 38名
地域の方 41名(児童の兄弟姉妹11名含), 教職員 6名

(5) 内 容

①地元漁師より漁業の話(三隅町漁業振興会館 和室)

講師:清尾 昭氏

②イカ焼き実食(三隅町漁業振興会館 駐車場・和室)

③祭礼(三隅町漁業振興会館 元せり場)

④神輿巡行(須津)

- (6) 日 程 12:30~13:30 イカ焼き係準備
- 13:30 参加者集合・開会式
- 13:40~14:00 地元漁師より漁業の話
- 14:00~14:30 イカ焼き実食
- 15:00 祭礼
- 15:30~16:30 神輿巡行
- 16:40 閉会式

3 成果と課題

- ・PTA 総務部を中心に企画し、運営した。会のねらいや活動内容について自治会や漁業関係者と複数回打ち合わせをした。それぞれの立場で児童との関わり方やねらいを考えて会を運営したことで、児童も参加した大人も有意義な会になった。
- ・参加した児童と保護者は、地域の良さを一緒に体験し、親子の絆が深まった。活動中は、児童も保護者も多く笑顔が見られた。また、保護者同士、保護者と地域の連携を深めることもできた。
- ・事業の継続のための経費の確保について、今後検討していく必要があり、課題となっている。

4 写真等の添付(必ず複数の写真を添えること)

別紙

様式 3

平成30年度 支援事業PTA

活動報告書

益田市立吉田小学校PTA

長 檜谷 邦茂 印

1 ねらい

親子で給食配膳台を製作することにより、親子関係はもとよりPTA会員相互の親睦を深める。

2 取り組みの概要

(1) 再生資源回収 (6月10日)

- ・PTA整美部が地域の協力を得て、吉田小学校校区(全17地区)で実施。
- ・学校の設備備品等の充実を目的に年2回実施している。
- ・今回はそこで得た収益金の一部を材料費として充てた。

(2) 給食配膳台製作活動 (8月26日)

- ・益田建築組合の方々を講師に迎え、親子で給食配膳台の製作に取り組んだ。
- ・部品に塗料を塗ったり組み立てを行ったりして、4台の給食配膳台を完成させた。
- ・給食配膳台づくりと並行して、昼食づくりにも取り組んだ。
- ・夏野菜を使ったおにぎりや

みそ汁など、親子で料理づくりに取り組んだ。

3 成果と課題

- ・再生資源回収の収益をPTA活動に役立てることにより、地域との連携を深めることができた。
- ・専門家の指導のもと給食配膳台を製作することにより、物づくりの喜びと働くことの大切さを学ぶ機会となった。
- ・親子一緒に活動することで親子の仲が深まり、また、給食配膳台や昼食づくりを通して会員同士の親睦を深めることができた。
- ・製作した配膳台を長く使用するために、製作活動だけでなく修復活動を行う必要がある。数年計画で実施する必要がある。

4 写真等の添付(必ず複数の写真を添えること)

別紙